

令和6年度 第1回 明浜小学校学校評価アンケート集計結果

評価について・・A当てはまる Bやや当てはまる Cやや当てはまらない D当てはまらない 達成率=(A×4+B×3+C×2+D)/(A+B+C+D)/4×100

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
1	教	保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	5	3	1	0	0	86%	89%
	児	地域の方や家の人といっしょに学習している	59	21	4	0	0	91%	88%
	保	学校は、保護者や地域と連携・協力した教育活動に取り組んでいる	15	41	1	0	1	81%	83%
	分析改善	各学年で、保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいる。児童の認識も高くなった。今後も、保護者や地域と連携した教育活動に努め、充実した教育活動にしていきたい。							
2	教	児童は、学校に行くのを楽しみにしている	2	7	0	0	0	81%	83%
	児	学校でみんなと学習したり、遊んだりするのが楽しい	69	15	0	0	0	96%	94%
	保	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている	21	28	6	1	2	81%	80%
	分析改善	児童の達成率が2ポイント増え、とてもうれしく感じる。水泳や陸上、学習と児童にとって大変なことも多いが、100%に近づくよう、今後も児童の様子をしっかりと把握して教科指導や雰囲気づくりに努めたい。							
3	教	児童の学習意欲を高め、主体的に学習する態度の育成を図っている	6	3	0	0	0	92%	89%
	児	自分から進んで授業や家庭学習に積極的に取り組んでいる	48	29	6	1	0	87%	87%
	保	子どもは、自分から進んで学習に取り組んでいる	7	35	15	1	0	71%	74%
	分析改善	1人1台端末を有効に活用し、ICT機器や教材研究ができています。また、授業でも、児童同士で学び合いができるようペアやグループ学習を授業に取り入れたり、振り返りをしたりしている。より一層、児童一人一人に分かる楽しさを味わわせ、自己肯定感を高めていきたい。							
4	教	家庭学習習慣の定着・向上に努めた	7	2	0	0	0	94%	92%
	児	決められた時間の家庭学習をしている(低20分、中40分、高60分)	61	19	3	1	0	92%	89%
	保	学校は、家庭学習習慣の定着・向上に努めている	13	37	5	0	3	79%	82%
	分析改善	教職員、児童ともに達成率が高くなっている。「家庭学習・生活調べ」を通して、家庭学習や生活習慣の定着について指導している。児童の調査の「C・D」の評価は、謙虚に反省した結果ではないかと考える。今後は、学校での取組や「家庭学習・生活調べ」の結果を保護者に伝えていきたい。							
5	教	読書意欲の向上に努めた	7	2	0	0	0	94%	92%
	児	目標とするページをめざして読書をしている	56	19	7	2	0	88%	86%
	保	子どもは、学校や家庭でよく読書に取り組んでいる	15	25	14	4	0	72%	75%
	分析改善	読書の時間を設けたり、児童へ積極的に声掛けを行ったりしている。児童の達成率も2ポイント増えており、成果が出ている。また、本を手に取りやすい図書室づくりも行っており、本も増やしている。さらに、市立図書館の本の入れ替えも行っている。家庭でもしっかりと読書をするよう声掛けをしていく。							
6	教	主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に努めた	3	5	1	0	0	81%	81%
	児	先生の授業はよくわかる	65	16	2	1	0	93%	93%
	保	先生は、一人一人によくわかる学習指導をしている	12	37	5	1	3	77%	81%
	分析改善	教職員、児童ともに高い達成率を維持している。一方で、保護者の評価が4ポイント低くなった。日頃の授業や研究授業、参観日等の授業の様子では、視覚的な教材提示、個に応じたプリントやワークシートを活用し「わかる授業」を実践している。今後も教材研究に取り組み、児童一人一人に応じた指導に当たりたい。							
7	教	一人一人の児童に応じた指導・支援ができた	4	5	0	0	0	86%	89%
	児	先生は一人一人の話を聞いてくれる	69	14	1	0	0	95%	94%
	保	学校は、一人一人の話をよく聞いてくれている	12	35	6	2	3	76%	82%
	分析改善	児童の達成率が若干であるが高くなっている。教職員の評価は、謙虚な評価をしたものとする。普段の授業や休み時間の様子を見ると、児童に寄り添った態度で関わっている。その成果が、若干ではあるが児童の達成率に反映していると考えられる。保護者の達成率については真摯に受け止め、個に向かう時間の確保に努めたい。							
8	教	いじめの早期発見・早期対応、解消に努めた	8	1	0	0	0	97%	92%
	児	いじめのない学校だと感じる	45	35	3	1	0	87%	85%
	保	学校は、いじめ防止に取り組んでいる	9	38	4	0	7	77%	81%
	分析改善	教職員による教育相談や職員会議での情報交換、毎月の「なかよしアンケート」や休み時間の児童との関わりなどを通して、いじめの早期発見・早期対応に努めている。また、スクールカウンセラーによる相談の場を設定し、相談している児童もいる。アンケートや普段の様子から、現時点ではいじめと思われる事案や辛い思いをしている児童はいないと思われる。「C・D」と回答している児童には、個人的に話を聞き、いじめと思われる内容はなかった。引き続き、アンケートや日々の児童の様子を注意深く見守り、すぐに対応する。また、全教職員で情報を共有し、家庭との連携を深める。							

項目番号	対象	アンケート項目	A	B	C	D	?	達成率	前回
9	教	お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	7	2	0	0	0	94%	89%
	児	思いやりの心を持ち、友達と仲良く生活している	62	21	1	0	0	93%	92%
	保	学校は、お互いを思いやる気持ちを育てる教育を行っている	11	38	5	0	4	78%	83%
	分析改善	教職員、児童の達成率が高くなった。特に、教職員一人一人が意識をして取り組んだ成果と考える。児童も思いやりを持って仲良く生活できている。保護者の達成率の5ポイント減少については、「C・？」と解答した保護者が9名となっており、学校の取組を積極的に発信して「C・？」評価の保護者が、少しでも評価が「A・B」になるよう努めたい。							
10	教	道徳科をはじめ道徳教育の充実に努めた	5	3	1	0	0	86%	81%
	児	道徳の時間に学習したことは役に立つと思う	69	12	1	2	0	94%	95%
	保	学校は、道徳教育の充実に努めている	9	38	5	0	6	77%	81%
	分析改善	教職員の達成率が5ポイント伸びた。道徳科を中心として教育活動全体においても、思いやりや互いを認め合う指導が十分にできている。また、日頃の教材研究や授業展開で児童同士での練り合いが十分に行えている。児童、保護者の達成率が低くなっていることは真摯に受け止め、教育活動全体の活動や様子を保護者に発信して家庭と共有していく。							
11	教	児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	4	5	0	0	0	86%	86%
	児	心配なことや悩みがあるとき、大人の人に相談できる	55	21	8	0	0	89%	79%
	保	学校は、児童や保護者が相談しやすい雰囲気作りができています	15	38	2	0	3	81%	80%
	分析改善	全教職員が、積極的に児童、保護者との関わりを持ち、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。児童と保護者の評価に「C・？」の評価があり、相談しにくい児童、保護者がいるようだ。学級担任だけでなく、教職員の誰にでも相談できる雰囲気づくりや周りの大人に相談するよう助言する。今後も教職員と保護者の連携をしっかりと図っていく。							
12	教	挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んだ	6	3	0	0	0	92%	92%
	児	自分から進んで、大きな声であいさつをしている	62	19	3	0	0	93%	86%
	保	学校は、挨拶と返事ができる児童の育成に取り組んでいる	24	29	3	0	2	84%	82%
	分析改善	教職員が率先した挨拶を心掛けた。児童の意識の変化が見られ、児童の達成率が7ポイント、保護者の達成率が2ポイント高くなった。登下校時の挨拶は、元気のよい声で挨拶ができ良くなっている。家庭や地域でも元気よく進んで挨拶ができるよう今後も指導していきたい。							
13	教	命を大切にし、安全に気を付ける指導ができた	7	2	0	0	0	94%	94%
	児	自分の命を大切にし、安全に気をつけて生活している	74	8	1	1	0	96%	96%
	保	学校は、命を大切にし、安全に気を付ける指導ができています	15	38	3	0	2	80%	83%
	分析改善	保護者の達成率が3ポイント減少した。児童、教職員は、高い達成率となっている。教育活動全体を通して、告知なしの避難訓練や定期的な避難訓練、日常の安全点検などを積極的に行っている。また、命の大切さについて、児童とともに考える時間を設け、実践へとつなげられている。							
14	教	教育目標を念頭に教育活動に努力している	4	5	0	0	0	86%	86%
15	教	温かく支え合う居心地のよい職場づくりに努めた	6	3	0	0	0	92%	89%
16	教	超過勤務時間の削減に努め、心身の健康管理に努めた	3	5	1	0	0	81%	83%

自由記述

保護者	入学してまもないが、先生方の指導などところどころ見て本当に素晴らしい学校だなと感じています。子どもも毎日楽しくてしかたないようで、学習にもとても興味を持って進んでしています。いつもすばらし御指導ありがとうございます。	大変うれしい感想をいただきありがたい。教職員の見えない頑張りや努力が伝わり、やりがいを持って今後も子どもたちのために指導にあたる。
	パソコンは重いのに毎日持ち帰りは大変だと思う。週1くらいではいけないか。	持ち帰る場合、教科書を学校に置いて帰るようにしている。また、パソコンを使った学習(持ち帰り学習)の市目標が週2回以上となっている。
	放課後の「体力づくり」が子どもの負担になっている。3年生は、週2回くらいにするなど少しずつ進めてほしい。	体力づくりについては、教育目標にもある「最後まで、一生懸命やり抜く子」を掲げており、放課後練習に児童が進んで参加し、体力の向上を図る。内容については、もう一度検討していく。
	中学校の広報の話を聞いて、小学校でももう1度検討してほしい。HPで中学校同様活用していただき、地域の方へは、月1回の小学校からの配布でよいと思う。 中学校ができるなら人数がへるから千円値上げしなくてすむ方法をもう一度検討してほしいという意見を多く聞く。 奉仕作業時、草引きと草刈りの距離が近くなり危険なため、距離をもっと離してほしい。	広報紙について、PTA会長はじめ、各部長の考えや活動等において広く地域の方々にも知ってもらうには広報紙が有効と考えている。HPでとの意見もあるが、全家庭が見れるわけではない。 会費については、総会で決定しているため令和7年度から実施する。
	国道以外の道は、低学年が乗ってよいとのことだが、自転車での飛び出しや真ん中を通るなど、ヒヤッとするのを目撃したり、地域の人から聞いたりする。特に中道は細いので、お年寄りの運転や冬場は農家の通行も増えるため、自転車を乗ってもよいのであれば、低学年も交通安全教室で自転車の乗り方を学ぶべきではないか。	命の大切さについては、どの学年もしっかりと指導している。自転車の乗り方について、御指摘のことは今後指導していく。家庭でも指導してほしい。学校と家庭・地域が協力して、児童の安全に努めていきたい。